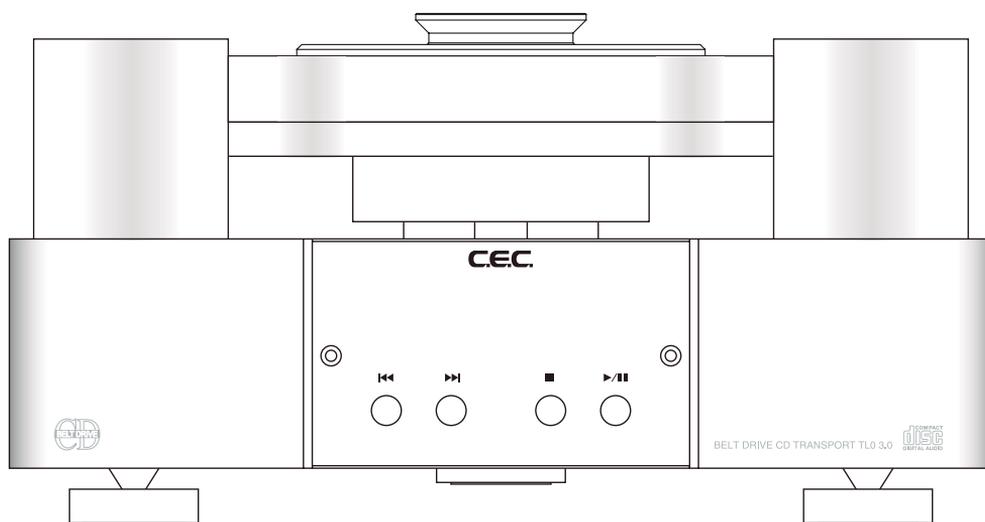


BELT DRIVE CD TRANSPORT

TLO 3.0

取扱説明書



CEC.

もくじ

はじめに	2
本機の特徴	2
安全上のご注意	3
使用上のご注意	6
コンパクトディスクについて	7
開梱と再梱包について	9
付属品について	9
フロントパネルの機能	10
CDトレイ	11
リアパネルの機能	12
据え付けと接続の仕方	13
再生の仕方	14
スーパーリンクとは？	15
リモートコントロールユニット	16
プログラム再生	18
ディマー機能(ディスプレイの明るさを替える)	19
その他のお知らせとお願い	20
お手入れの仕方	20
保証とアフターサービス	21
主な仕様	23

はじめに

この度は、CECベルトドライブCDトランスポート TL0 3.0 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の特徴を正しくご理解いただき、末永く安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

外装箱や梱包材は再輸送の際に必要なですので、取扱説明書などと同様に大切に保管してください。

本機の特徴

- ▷ TL0 3.0は、スピンドルもピックアップもベルトで駆動するダブルベルトドライブ方式のメカニズムを採用することで、各駆動モーターが発生する機械振動や電磁ノイズを効果的に遮断します。ベルト駆動方式に欠かせない高精度CDスタビライザーは、ディスク全体を覆う大型の専用CDスタビライザー。ベルト駆動と大きな慣性により、滑らかで安定したディスクの回転を実現しています。
- ▷ 回転するディスクから音楽信号を読み取る最も重要なメカニズムであるスピンドルシャフトとレーザーピックアップを、真鍮とアルミ製の2層構造の重量級シャーシに取り付けることにより、減衰率を高めて振動をすばやく吸収・減少させるとともに、そのシャーシ全体を3箇所サスペンションでフローティングすることで、共振周波数を5Hz以下に抑えています。このような徹底した振動対策が、回転の安定化と信号の読み取り精度の向上に大きく貢献しています。
- ▷ 読み取った信号を高品位に伝送処理する回路基板に、豊富なデジタルインターフェイスを装備。CEC独自のSUPERLINKは、対応するD/Aコンバーターと組み合わせることで、マスタークロックを共用するとともに、音楽信号とクロック信号を分離して伝送。エンコードとデコードを経ない極めて歪みの少ない高精度な信号伝送が可能です。
- ▷ また、ワードクロック入力を備えていますので、外部クロックジェネレーターが作り出す基準クロックをD/Aコンバーターと共用することにより、音質をさらに改善するジッターの低減に大きく貢献します。

安全上のご注意

製品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全にお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。記号の意味をよくご理解の上、本文をお読みください。

記号の意味



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、ケガをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性があります。

注意を促す記号



一般的な注意



感電注意

してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



分解禁止

必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号



電源プラグを
コンセントから抜く



一般的な強制



警告！

万一、次のような異常が起きたら ...

- ・ 煙が出たり、変なおいや音をする。
- ・ 機器の内部に異物や水が入った。
- ・ 落としたり、キャビネットを破損した。



すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。



- ・電源ケーブルを傷つけない。
- ・電源ケーブルの上に重いものをのせたり、ケーブルを本機の下敷きにしない。
- ・電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。

ケーブルが破損すると、火災、感電の原因となります。万一、電源ケーブルが傷んだら（心線の露出、断線など）、販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。

- ・電源プラグにほこりをためない。

電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災、感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。

- ・機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。

内部に水が入ると、火災、感電の原因となります。



警告！



- ・表示された電源電圧(交流100ボルト)で使用する。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



- ・この機器のカバーは絶対に外さない。

カバーを開けたり改造すると、火災、感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。



- ・この機器のカバーを開けたり、内部に手を入れない。

この表示部分に手を近づけたり触れたりすると、感電やけがの原因となります。



注意！



- ・この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、他の機器との間は15cm以上離して置く。
内部に熱がこもり、火災の原因となります。



- ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
- ・湿気やほこりの多い場所に置かない。
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所に置かない。
火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・電源コードを熱器具に近づけない。
コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となります。
- ・電源プラグは、異常が発生した時にすぐに抜けるような場所にあるコンセントに差し込む。
- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。
- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- ・旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- ・お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。
- ・移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

① 電源電圧はAC100V

本機は、定格電圧100Vでご使用ください。

② 他の機器と接続するとき

他の機器と接続するとき、または接続を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

③ 本機の電源を入れるとき、切るとき

▷ 電源を入れるときは、本機の電源を先に入れてから、D/Aコンバーターやアンプの電源を入れてください。

▷ 電源を切るときは、アンプやD/Aコンバーターの電源を切ってから本機の電源を切るようにしてください。

本機の電源を入れたり切ったりするときに発生する微小ノイズがアンプで増幅されて、突然大きな音が発生したり、スピーカーや他の機器を破損する恐れがあります。ご注意ください。

④ 光学式ピックアップ(半導体レーザー)

光学式ピックアップは、CDトランスポートの性能を決める重要な部分のひとつです。レンズ部分に指などで触れないようにしてください。レンズの表面をきれいに保つために、ご使用にならないときでも、CDスタビライザーはCDトレイに戻しておいてください。

⑤ CDスタビライザー

CDをホールドするCDスタビライザーは付属のものをご使用ください。CDスタビライザーを落としたりすると、変形しバランスを崩す可能性があります。また、他の物を傷つける可能性があります。高価な精密部品です。お取り扱いには十分ご注意ください。

⑥ 取り扱いはいねいに

スイッチやツマミ、CDトレイ、ターンテーブル、キャビネットなどに無理な力を加えることは避けてください。

⑦ 設置場所について

次のような場所で長時間ご使用になりますと、音質の悪化や故障などの原因となります。ご注意ください。

▷ 窓際など直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度35℃以上)、または温度の特に低い場所(周囲温度10℃以下)では、製品の正常な機能を維持できない場合がありますので避けてください。

▷ 湿度の多い場所(湿度90%以上)では金属部分にサビが生じたり故障の原因となります。

▷ ほこりの多い場所はスイッチなどの接触不良や雑音等の発生原因になり、性能を損なうことがあります。

- ▷ その他、トランスやモーターの近くの設置は誘導ハムを拾う原因となりますので、離して設置してください。また、振動の多い場所も避けてください。

音質や性能を最大限に発揮させるためにも、オーディオ専用ラックを使用されることをお奨めいたします。

⑧ 水に濡れたら

万一雨が降ったり、花びんなどの水を本機にこぼしたときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。この状態で電源を入れた場合、感電の恐れもあり危険です。また故障の原因となりますのでご注意ください。

⑨ 落雷に対する注意

落雷の恐れのあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜いてください。

⑩ 結露現象について

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると結露が生じ、製品の性能が十分引き出せなくなることがあります。

このような場合は、結露の程度にもよりますが、1～2時間そのまま放置し、本機を室温に保つよう to してください。結露は徐々になくなります。

⑪ 演奏を聴くエチケット

音量は、他の人や近隣の迷惑にならないように気を配り、お互いの快い生活環境を乱さないように十分注意しましょう。

コンパクトディスクについて

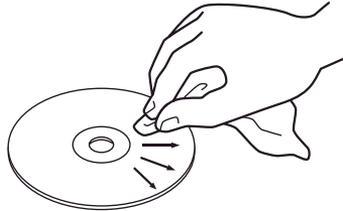
- ▷ ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



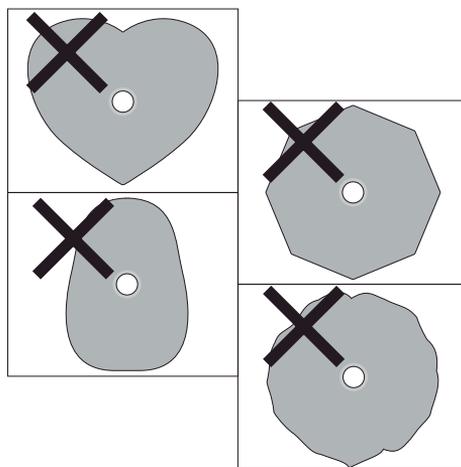
- ▷ ディスクは、必ずレーベル面を上にして、CDトレイのターンテーブルに乗せてください。



- ▷ 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ▷ 信号録音面に汚れが付着した場合は、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクはいつもきれいに清掃して保管してください。



- ▷ レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- ▷ 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。
- ▷ 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- ▷ ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、故障の原因となることがあります。
- ▷ ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ▷ ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

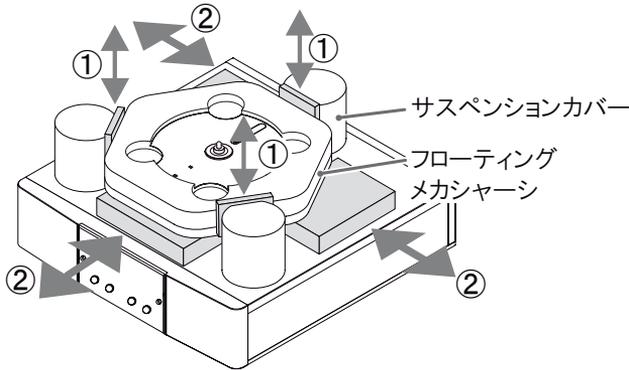


CD-R/RWディスクの取り扱い

- ▷ 本機はファイナライズ済みのCD-R/RWの再生にも対応しています。
- ▷ ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。

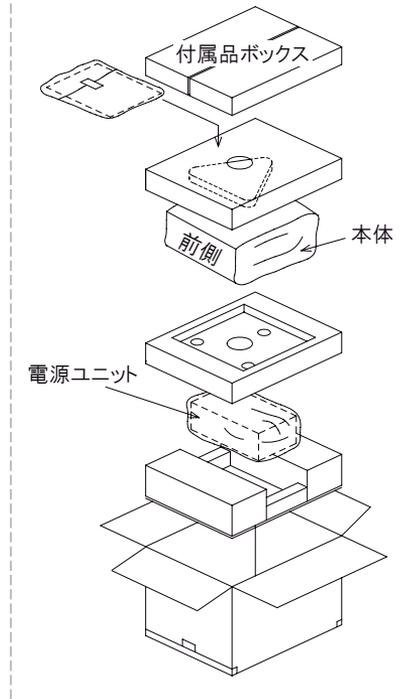
開梱と再梱包について

- ▷ 開梱または再梱包するときの手順は、右図を参考にしてください。
- ▷ 輸送時のダメージを防止するため、本体にフローティングメカシャーシを固定する緩衝材が取り付けられています。本体の据え付けが完了してから、この緩衝材を外してください。



- ▷ 再輸送するときは、①サスペンションカバーとフローティングメカシャーシの間3箇所、②フローティングメカシャーシの下3箇所に緩衝材(小)を、③フローティングメカシャーシの下3箇所に緩衝材(大)を入れて、フローティングメカシャーシを固定してから梱包してください。

開梱・再梱包の際の順序

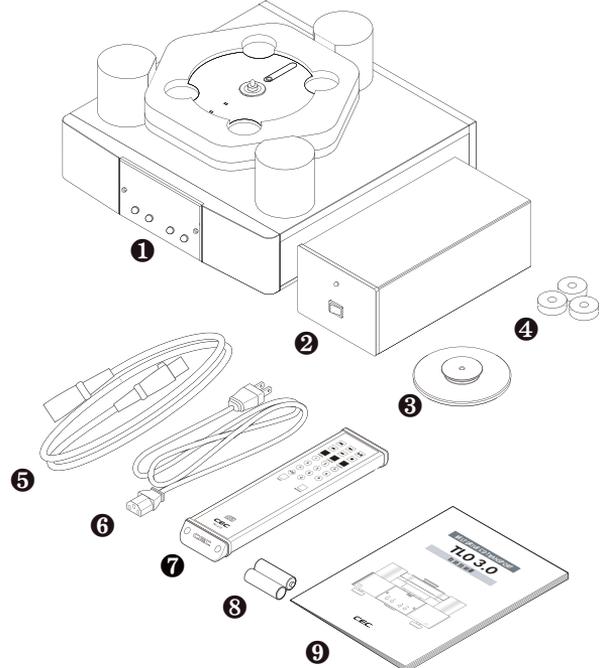


付属品について

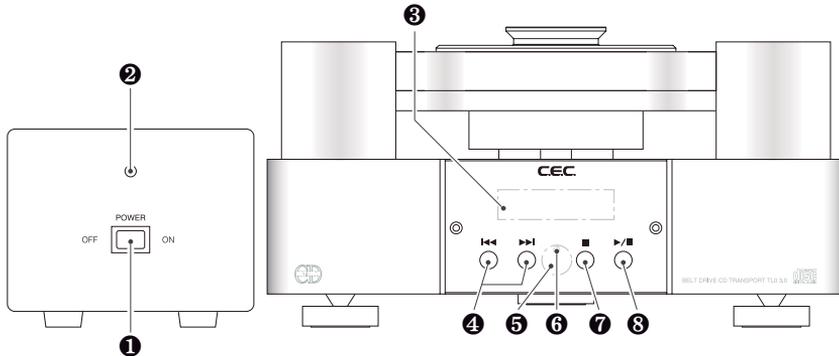
TL0 3.0の箱の中には、次のものが入っています。最初にご確認ください。

- ① TL0 3.0本体
- ② 電源ユニット
- ③ CDスタビライザー
- ④ スパイク受け(3個)
- ⑤ 7ピン電源ケーブル
- ⑥ 3ピン電源ケーブル
- ⑦ リモコン
- ⑧ リモコン用単3形乾電池(2本)
- ⑨ 取扱説明書
- ⑩ 保証書(外装箱に添付)

- ▷ 外装箱や梱包材は再輸送の祭に必要ですから、取扱説明書と一緒に大切に保管してください。
- ▷ 付属の電源ユニットと電源ケーブルは本機専用です。他の機器には使用しないでください。



フロントパネルの機能



① 電源スイッチ

電源スイッチです。右側に押すと本機に電源が入り、左側に押すと電源が切れます。電源を入れると、②電源LEDが赤色に点灯します。ディスクとCDスタビライザーがセットしてある場合には、自動で回転が始まりTOC情報を読み取ります。その間、ディスプレイに“0 0:00”が点滅し、約5秒後、総曲数と総再生時間が表示されます。CDがセットされていない場合は“0 0:00”が表示されます。

② 電源LED

電源を入れると赤色に点灯します。

③ ディスプレイ パネル

ディスクとCDスタビライザーをセットした状態で、総トラック数、総再生時間、CD再生中は、トラック番号、曲の再生経過時間などが表示されます。

A. プレイ▷インジケーター

再生モードで点灯します。

B. ポーズ||インジケーター

ポーズ(一時停止)モードで点滅します。

C. タイム ディスプレイ

経過時間、残量時間、総残量時間、総経過時間を表示します。

D. プログラム インジケーター

プログラム再生モードで点灯し、Eに曲順を表示します。

E. トラックナンバー ディスプレイ

演奏中のトラック番号を表示します。

F. リピート インジケーター

リピートモードで点灯します。



④ スキップ|◀◀/▶▶|ボタン

再生中に▶▶|を押すと、次の曲にスキップして再生します。希望する曲番になるまで▶▶|を続けて押してください。

再生中に|◀◀を1回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前の曲を再生するときは、|◀◀を続けて押してください。

⑤ リモート センサー

リモコンからの信号を受けるセンサーは、ディスプレイウィンドウの中央にあります。リモコンをセンサーの方向に向けて操作してください。リモコンとセンサーの間に障害物があると、正しくリモート操作が機能しないことがありますのでご注意ください。

⑥ ワードクロック インジケーター

接続した外部のクロックジェネレーターから入力するワードクロック信号で動作しているときに点灯します。

⑦ ストップ ■ ボタン

再生中に押すと、CDの再生が停止します。

⑧ プレイ/ポーズ ▶ / ■ ボタン

再生を開始、または再生中の曲を一時停止します。

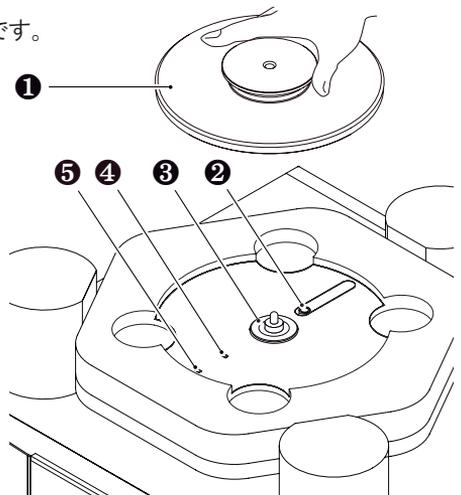
CDトレイ

① CDスタビライザー

直径12.5cm、質量460gの重量級CDスタビライザー(付属品)です。



■セットするときや取り外すときには、上部の縁をしっかりと持ってください。真円やバランスを考慮した精密部品です。床に落したりして偏重心が生じると、CDの読み取り精度や音質に影響します。お取り扱いには十分ご注意ください。



② 光学式ピックアップ

CDに記録された信号を読み取るピックアップのレンズです。きれいに保ち性能を損なわないようにするため、指などで直接触れないでください。

③ ターンテーブル

再生するとき、CDをターンテーブルに乗せてからCDスタビライザーを乗せます。CDスタビライザーは、CDドア(カバー)の役割を兼ねてますので、CDをセットしてない場合でも、CDスタビライザーはターンテーブルに乗せて置いてください。

④ ディスク センサー

CDを検知するセンサー用の窓です。

⑤ CDスタビライザー センサー

CDスタビライザーを検知するセンサー用の窓です。センサーは、CDスタビライザー裏側最外周にある光沢面からの反射を検知しています。この縁の光沢面が汚れると正しく検知できないことがありますので、汚れは柔らかい布でふき取ってください。

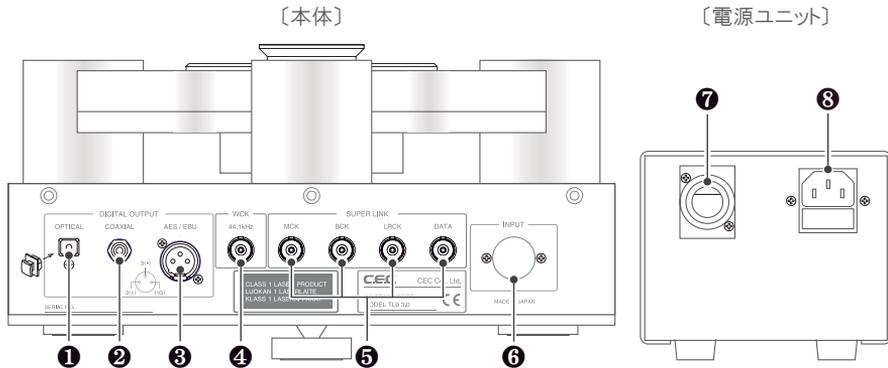


■センサー用の④と⑤の窓は、他の物で絶対にふさがないようにしてください。誤動作の原因となります。

センサーの検知に必要な光沢面



リアパネルの機能



デジタル出力

① TOS LINK

光デジタル出力端子です。TOS LINK光デジタル入力端子を備えたデジタルオーディオ機器と接続します。角型プラグ付き光ケーブルをご使用ください。使用しないときは、キャップを戻しておいてください。

② COAXIAL

RCA型のデジタル出力端子です。COAXIAL(RCA)入力端子を備えたデジタルオーディオ機器と接続します。75Ωの同軸ケーブルをご使用ください。

③ AES/EBU

XLR型デジタル出力端子です。AES/EBU(XLR)入力端子を備えたデジタルオーディオ機器と接続します。110ΩのXLRケーブルをご使用ください。

クロック入力

④ WCK(ワードクロック)

外部のクロックジェネレーターが発信する44.1kHzのワードクロックを入力する端子です。75ΩのBNCケーブルをご使用ください。外部のワードクロックで本機が動作しているとき、ディスプレイパネル中央にあるLEDが青色に点灯します。

▷ 外部からのワードクロック信号で動作していても、スーパーリンクへ切り替えると、スーパーリンクが優先され動作しますので、青色のLEDは消灯します。

スーパーリンク

⑤ SUPERLINK

MCK, BCK, LRCK, DATAの4種類の信号に分離し伝送するCEC独自規格のデジタル入出力端子です。対応するD/Aコンバーターとスーパーリンク接続するときに使用します。75ΩのBNCケーブル4本をご使用ください。

電源入力

⑥⑦ AC LINE

付属の7ピン電源コードを使って、本体と電源ユニットを接続します。

⑧ AC LINE

付属の3ピン電源コードを使って、電源ユニットとご家庭のコンセント(100V)に接続します。

据え付けと接続の仕方

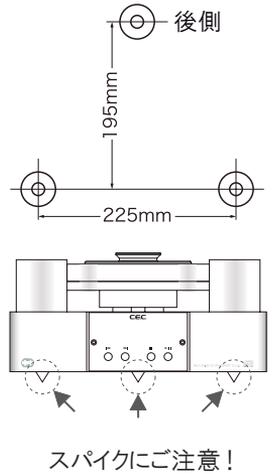
据え付け

TL0 3.0は、スパイク型の3本の脚で本体を支持し、その支柱の上部でメカニズムをフローティングする構造です。本体を設置するときは、付属のスパイク受けを右図のように配置し、スパイク受けの凹みにスパイクの先端が収まるように本体を設置ください。



■スパイクの鋭利な先端に触れたり、先端と床との間に挟まれると、ケガをする恐れがありますので、お取扱いの際は十分にご注意ください。

■仮置きするときなど、スパイク受けの上に設置しない場合には、本体底面と設置面の距離が狭くなりますので、その隙間に指などが挟まれないようにご注意ください。また、スパイクの先端で設置面を傷つけないようにご注意ください。



D/Aコンバーターとの接続

① TOSLINK(光)接続

角型プラグ付きの光ケーブルを使って接続します。

② COAXIAL(RCA型)接続

75Ωの同軸ケーブルを使って接続します。

③ AES/EBU接続

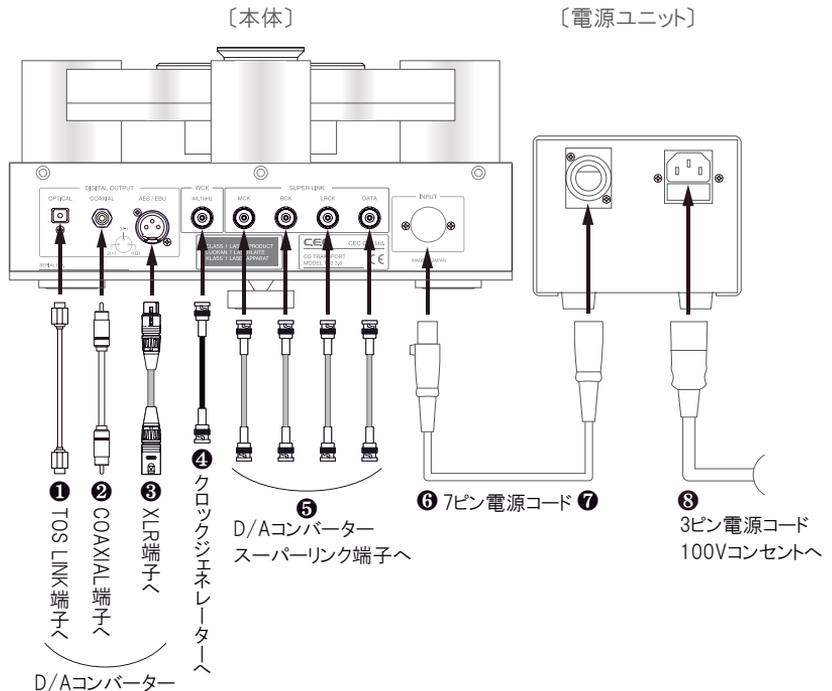
110ΩのXLRケーブルを使って接続します。

ワードクロック接続

④ 75ΩのBNCケーブルを使って接続します。

SUPERLINK接続

⑤ 75ΩのBNCケーブル4本を使って、CEC DA3NやDA1Nなどの対応するD/AコンバーターのMCK, BCK, LRCK, DATA端子に接続します。



本体と電源ユニットの接続

⑥ ⑦ 付属の7ピン電源コードを使って本体と電源ユニットを接続します。

⑧ 付属の3ピン電源コードを使って電源ユニットとご家庭のコンセントに接続します。

再生の仕方

通常再生

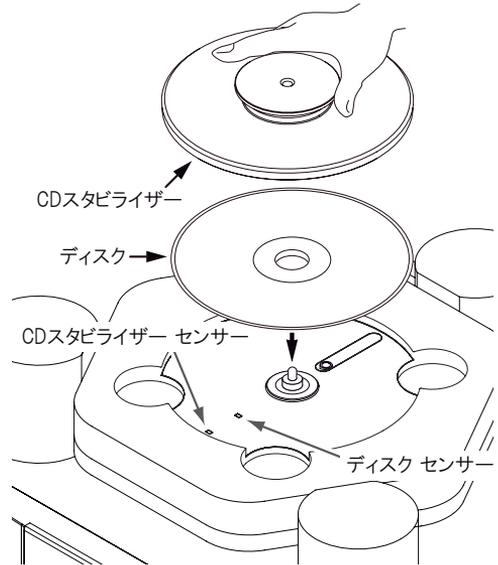
- ① 電源スイッチを押して電源を入れます。
- ② CDスタビライザー上部の縁をしっかりと持って真っ直ぐ上に持ち上げます。ターンテーブルにディスクを乗せ、その上にCDスタビライザーを静かに戻します。約1秒後に回転を始めますので、その前にCDスタビライザーから手を放します。

■ ディスクはレーベル面を上にしてターンテーブルに乗せてください。

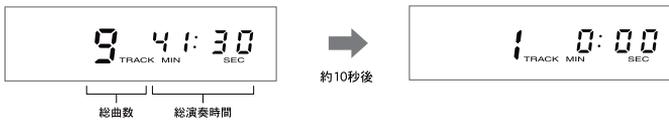
■ 指定以外のCDスタビライザーは性能を損なう恐れがありますので、使用できません。



- ③ 乗せたディスクとCDスタビライザーの両方をセンサーが検知すると、約1秒後にディスクが回転を始めます。ディスク情報を読み取り、約5秒後に総曲数と総再生時間を表示します。



プレイ/ポーズ▶ / ■ ボタンを押さずにそのままにしておくと、約10秒後に1トラック目の再生待機の表示に変わります。



- ④ プレイ/ポーズ▶ / ■ ボタンを押します。再生が始まります。ディスプレイに(▶)とトラックナンバーを表示し、次に経過時間が表示されます。



曲を前後にスキップするとき

再生中にスキップ▶▶| ボタンを押すと次の曲にスキップします。スキップ|◀◀ ボタンを押すと再生中の曲の頭に、続けてもう一度押すと前の曲にスキップします。複数曲スキップするときには、スキップしたい回数だけ押します。

一時停止するとき

プレイ/ポーズ▶ / ■ ボタンを押します。もう一度押すと、再び再生を始めます。

再生を停止するとき

ストップ■ ボタンを押します。



ストップ■ボタンを押してから、ディスクの回転が止まるまで数秒かかります。回転が完全に止まるまではCDスタビライザーとディスクには触れないでください。特に、下方へ強く押さえつけると、回転メカニズムに無理な力が加わり、故障の原因となることがあります。

ディスクを取り出すとき

ストップ■ボタンを押して回転が停止してから、CDスタビライザー上部の縁をしっかりと持って、真っ直ぐ上に持ち上げるようにして外し、ディスクを取り出します。

- ▷ 再生終了後、ディスクはそのままにせず、取り出しておいてください。
- ▷ CDスタビライザーは、CDドア(カバー)の役割を兼ねてますので、CDをセットしてない場合でも、CDスタビライザーはいつもターンテーブルに乗せて置いてください。

スーパーリンクとは？

音楽信号とクロックなどの同期信号を独立したケーブルで伝送するCEC独自のデジタル伝送方式です。一般的な同軸デジタル出力や光出力などに使われているSPDIF(Sony Philips Digital InterFace)やAES/EBU(Audio Engineering Society/European Broadcasting Union)などの伝送方式は、オーディオデータと制御のためのクロック信号を1本のケーブルで伝送するため、原理的に信号同士の干渉から生じるジッターの発生を免れることができません。

CECが開発したスーパーリンクは、SPDIF方式などのエンコード/デコードを経由することなくオーディオデータとクロックデータを分離して伝送。D/Aコンバーター側のマスタークロック・ジェネレーターから送出されるクロックを利用して信号を完全に同期させ、伝送に伴う音質劣化を最小限にとどめます。各系路は次のような信号を送出 / 受信しています。

MCK(マスタークロック):

この系路を通じてD/Aコンバーターからマスタークロックが送られてきます。マスタークロックを受け取るとCDトランスポートはD/Aコンバーターのスレーヴとして働くようになり、D/Aコンバーターとの間で完全に同期したオーディオデータの伝送が可能になります。

BCK(ビットクロック):

CDトランスポートからD/Aコンバーターへ、デジタルデータのビットの識別に必要なビットクロックを送信します。

LRCK(L/Rクロック):

CDトランスポートから左右の信号を識別するL/Rクロック(ワードクロック)を送信します。

DATA(データ):

CDトランスポートからD/Aコンバーターにオーディオ信号を送信します。

リモートコントロールユニット

ボタンの機能

① スキップ ◀◀/▶▶ ボタン

再生中や停止中に前後の曲に移動します。

② サーチ ◀◀/▶▶ ボタン

再生中の曲を早戻し ◀◀ または早送り ▶▶ します。本体のフロントパネルには、この機能のボタンはありません。

③ CHECK(チェック)ボタン

プログラムした曲と順番を確認したいときに押します。詳細は18ページの「プログラム再生」の項目をご参照ください。

④ PROG(プログラム)ボタン

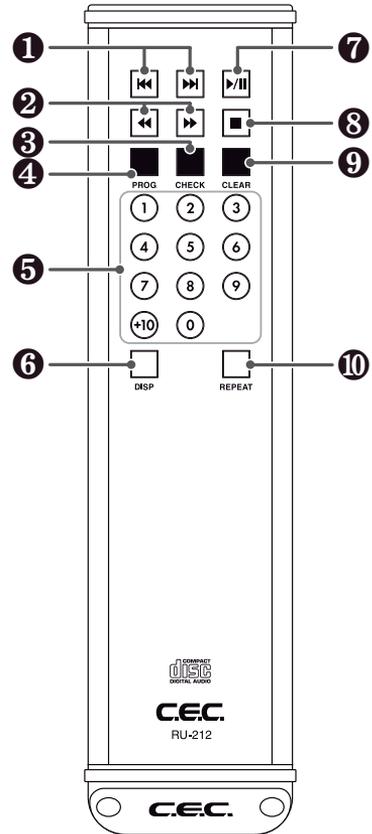
聴きたい曲を聴きたい順に32曲までプログラム(登録)し再生できます。詳細は18ページ「プログラム再生」の項目をご参照ください。

⑤ テンキー

聴きたい曲をダイレクトに選択できます。また、曲をプログラムするときに使用します。
※ 10曲目以降は+10を押してから、20曲目以降は+10を2回押してから0~9を押します。

⑥ DISP(ディスプレイ)ボタン

ディスプレイの表示を切り換えます。最初の曲番号と再生経過時間の表示から、1回押すごとに、その曲の残り再生時間、ディスク全体の残り再生時間、ディスク全体の再生経過時間へと表示が切り替わります。



●再生時間表示



●残量時間表示



●総経過時間表示



●総残量時間表示



※プログラムとリピート再生中は、総残量と総経過時間は表示されません。

⑦ プレイ/ポーズ ▶/|| ボタン

再生を開始、または再生中の曲を一時停止します。

⑧ ストップ ■ ボタン

再生を停止します。

⑨ CLEAR(クリア)ボタン

プログラムした曲を取り消すときに押します。詳細は18ページの「プログラム再生」の項目をご参照ください。

⑩ REPEAT(リピート)ボタン

全曲を繰り返し再生するとき、再生中または停止中に押すと、ディスプレイにリピートインジケータ(🔄)が点灯し、リピート再生モードになります。停止中のときは、プレイ/ポーズ▶/⏸ ボタンを押してリピート再生を始めてください。ボタンをもう一度押すと、リピート再生はキャンセルされます。

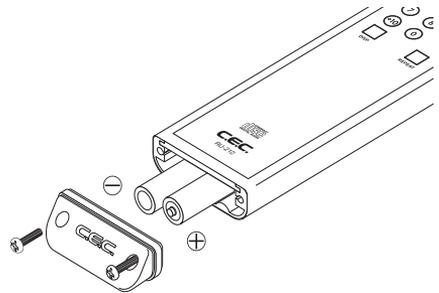


リモコンの使用上の注意

- ▷ リモート操作するとき、リモコン送信機を本機のリモートセンサー部に向けてください。
- ▷ リモート操作するとき、リモコン送信機と本機との間に障害物があると正しく動作しません。
- ▷ フロントパネルのリモートセンサー部分に直射日光を当てないでください。誤動作の原因となることがあります。
- ▷ 電池が消耗するとリモコン送信機は動作しません。この場合は同じタイプの新しい電池と交換してください。

電池の入れ方

+ドライバーを使って電池ケースのカバーを外し、右図の⊕と⊖の表示にしたがって、単3形乾電池2本を正しく入れてください。カバーを戻します。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。

電池の取り扱い

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

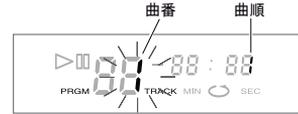
- ▷ 乾電池の⊕と⊖の向きを上図に指示されている通りに正しく入れてください。
- ▷ 新しい乾電池と古い乾電池、またはアルカリ乾電池とマンガン乾電池など種類の違う電池を混ぜてご使用にならないでください。
- ▷ 乾電池は絶対に充電しないでください。
- ▷ 長期間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、液もれによってリモコンが破損することがないように、電池を取り出しておいてください。
- ▷ 万が一液もれを起こしたときは、ケース内に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と交換してください。

プログラム再生

メモリー登録

始めにプログラム再生する曲を登録します。登録は、停止状態で行います。

- ① リモコンのPROGボタンを押します。ディスプレイに“PRGM”の表示が出て曲番の“1”が点滅、曲順の“1”が点灯します。



- ② テンキーボタンを押して希望の曲番号を選択します。テンキーボタンを押すだけで自動的に登録されます。

例) テンキーの5を押すと、曲番に“5”が点灯し、曲順1にトラック5が登録されます。次にテンキー3を押すと、トラック3が曲順2に登録されます。



複数の曲を登録するにはテンキーボタンを続けて押します。登録された曲数は、ディスプレイの右側に曲順として表示されます。最大32曲まで登録できます。

▷ CDに入っている最大トラック数より大きい数値を入力すると自動的に最終トラックが選ばれます。

▷ 曲順2以降は、スキップ◀◀/▶▶ボタンを押して希望の曲番号を点滅させ、リモコンのPROGボタンを押して登録することもできます。この場合は、希望の曲番号を点滅させた後、その都度PROGボタンを押して登録します。



- ③ ストップ■ボタンを押して登録作業を終了します。順番1に登録した曲番が表示されます。32曲まで登録してある場合、ディスプレイに“FULL”が表示されます。



プログラム再生

ディスプレイに“PRGM”が表示されているときに、プレイ/ポーズ▶/■ボタンを押すと、登録された曲が順番に再生されます。



通常の再生に戻る場合は、停止中にもう1度リモコンのPROGボタンを押し(“PRGM”表示が消えます)、プログラムモードを解除してからプレイ/ポーズ▶/■ボタンを押してください。

プログラムモードに戻すには、もう1度リモコンのPROGボタンを押します。

プログラムの確認、追加、修正と削除

プログラムの確認、追加、修正と削除はプログラム再生の停止状態で行います。

① 確認

CHECKボタンを押すたびにディスプレイにトラック番号と曲順が表示されます。登録された最終曲番号までくると、次は「-」表示となり、もう1度押すと最初に登録した曲番に戻ります。



ストップ ■ ボタンを押すと順番1の表示に戻ります。

② 追加

プログラムに新しい曲を追加するには、ストップ ■ ボタンを押し、テンキーで新しい曲番を押すと最終曲に追加できます。ストップ ■ ボタンを押して、操作を完了させます。

③ 修正

CHECKボタンを押して修正したい曲番を出し、テンキーで新しい曲番を押すとプログラムが上書きされます。ストップ ■ ボタンを押して操作を完了させます。

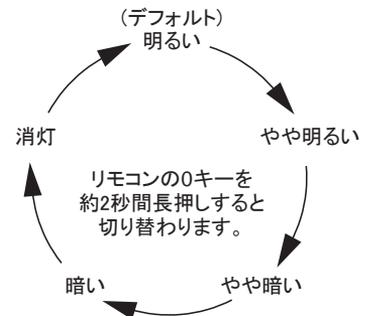
④ 削除

- ▷ 全曲削除するには、CLEARボタンを2秒以上押し続けます。
- ▷ 1曲削除するには、CHECKボタンで削除したい曲番を選択しCLEARボタンを押します。
- ▷ 複数曲を1曲ずつ削除する場合は、CHECK → CLEARを繰り返します。
- ▷ CDスタビライザーを外したり電源を切ると、登録は全て削除されます。

ディマー機能 (ディスプレイの明るさを替える)

ディスプレイの文字の明るさを5段階に切り替えることができます。

- ① リモコンの数字のゼロ“0”キーを約2秒間長押しすると、右図のような順に明るさが段階的に切り替わります。
- ② ディスプレイを“消灯”にしているとき、ディスクの交換などでCDスタビライザーを外すと、明るさは一段階戻り“暗い”に自動設定されます。“消灯”するには、CDスタビライザーを戻してから、リモコンの“0”キーをもう一度長押ししてください。



- ③ 設定した明るさに関わらず、電源を入れ直したり、接続するD/Aコンバーターの入力をSUPERLINKから他の端子へ、あるいは他の端子からSUPERLINKへ切り替えると、自動的にデフォルトの“明るい”に戻ります。

その他のお知らせとお願い

① CDスタビライザーの取扱は丁寧に

重いCDスタビライザーを誤って落として他のものを破損しないようご注意ください。また、CDスタビライザーが変形すると、ディスクの読み取りに支障をきたすことがあります。高価な精密部品です。お取扱には十分ご注意ください。

② CDスタビライザーをターンテーブルに乗せるとき

CDスタビライザーに乗せるときや外すときは、その中心の穴に対して、ターンテーブルの中心のスピンドルシャフト(軸)が、垂直に入ったり出たりするようにお取扱ください。斜めにすると途中で引っ掛かったり、特に傾いたままディスクに乗った状態になると、正しく読み取りや再生ができなくなることがありますのでご注意ください。

③ 再生中や回転が止まるまでは手を触れない

再生中は回転しているCDスタビライザーに触れないでください。また、再生停止ボタンを押しても、CDスタビライザーの回転が完全に止まるまでは、CDスタビライザーとディスクに触れないでください。特に、下方へ強く押さえつけると、回転メカニズムに無理な力が加わり、故障の原因となることがあります。

④ ベルト交換とスピンドル軸のオーバーホールについて

ベルトドライブ方式のメカニズムで使用しているベルトは、経年変化で張力が低下してきます。症状としては、ディスクを読み込まない、音飛びがするなどです。この場合には、ベルトの交換が必要です。5年を目安にベルトの交換をお勧めします。

また、スピンドル軸も経年変化で劣化します。8年を目安にオーバーホールをお勧めします。販売店または弊社サービスセンターにお問い合わせください。

お手入れの仕方

① 日常的なよごれは

必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。からぶきで取れないよごれは薄めた中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。洗剤をご使用の場合は最後に必ず水で湿らせた布で拭き取って洗剤分が残らないようにしてください。また本機をベンジン、シンナーなどの揮発油系の液体や化学ぞうきんで拭いたり、クレンザーなどや漂白剤をご使用なことはお避けください。また近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布することは避けてください。

② ターンテーブルに埃が溜まっているとき

セロテープ等で埃を拭い去ってください。その際に、光学式ピックアップのレンズ部分に指などで触れないようご注意ください。

③ 定期的な保守・点検

上記のベルトやスピンドル軸以外は、本機の定期的な保守・点検は必要ありません。不具合の際の点検・修理は販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。

保証とアフターサービス

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいと思ったら、サービスをご依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または当社サービスまでご連絡ください。

症状	原因	対処法
電源スイッチを入れても反応しない	電源ケーブルがしっかり接続されていない	電源ケーブルを正しく接続してください
CD再生		
ディスクを乗せても再生できない	CDスタビライザーが乗っていない	CDスタビライザーを乗せます
	ディスクが裏返しになっている	ディスクのレーベル面を上にする
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングする
	CDスタビライザー裏側の縁がひどく汚れている	クリーニングする
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認する
	D/Aコンバーターやアンプ操作を間違えている	接続やセクターの位置を確認する
音飛びがする	プレーヤーに振動やショックを与えている	設置場所を変える
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングする
ハム音が出る	ピンプラグの接触不良	ピンプラグをしっかり差し込む
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近すぎる	チューナーから離れた場所に設置するか電源を切る
リモコン操作できない	本体の電源が入っていない	電源スイッチを押す
	リモコンに電池が入っていない	電池を入れる
	リモコンの電池が弱っている	新しい電池と交換する

- ▷ 本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は電源スイッチを押して一旦電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。しばらくしてから、再び接続して電源を入れ、あらためて操作してください。

保証について

1. この製品には保証書を別途添付しております。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認のうえで取扱説明書などと一緒に大切に保管してください。
2. 保証期間はご購入日より3年です。保証期間中は保証書の記載内容により、ご購入後販売店または弊社が修理いたします。その他詳細につきましては保証書をご参照ください。
3. 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、ご購入後の販売店または当社にご相談ください。保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

サービスのご依頼について

万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認し、ご購入のお店または弊社サービスセンターにご遠慮なくご相談ください。

1. 型名、型番
2. 故障の内容
3. お買い上げ年月日
4. お名前、住所、電話番号

主な仕様

再生可能ディスク	一般音楽CD, ファイナライズ済み音楽用 CD-R/RW	
スピンドル駆動方式	ベルトドライブ	
ピックアップ駆動方式	ベルトドライブ	
CDスタビライザー	直径約125mm, 質量約460g(真鍮製, ニッケルメッキ仕上げ)	
	慣性モーメント $6.6 \times 10^{-4} \text{N} \cdot \text{m} \cdot \text{s}^2$	
スピンドルシャフト	$\phi 5\text{mm}$	
フローティングサスペンション	D.R.T.S.(Double Rubbers & Triple Springs), スパイク型3点支持	
フローティング部シャーシ	六角形20mm厚アルミニウムと10mm厚真鍮の異種金属2重構造	
本体操作部シャーシ	最厚部20mm厚アルミニウム	
デジタル出力	Superlink x 1(BNC x 4): 2.5Vp-p/75 Ω	
	AES/EBU x 1(2番ホット): 2.5Vp-p/110 Ω	
	COAXIAL x 1: 0.5Vp-p/75 Ω	
	TOS x 1: -21 ~ -15dBm EIAJ	
ワードクロック入力	BNC x 1: 44.1kHz	
電源	AC100V, 50/60Hz	
消費電力	12W	
外形寸法	本体	約300(W) x 317(D) x 158(H)mm (CDスタビライザー, レッグ, ボタン, 端子含む)
	電源ユニット	約128(W) x 260(D) x 103(H)mm
質量	本体	約16.5kg (CDスタビライザー含む)
	電源ユニット	約3.2kg
付属品	CDスタビライザー, スパイク受け3個, 7ピン電源コード, 3ピン電源コード, リモコン, 単3形乾電池2本, 取扱説明書, 保証書	
外観色	シルバー	

▷仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

▷製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが一部製品と異なることがあります。



CEC日本総代理店・修理センター：

有限会社エステック

〒370-0535 群馬県邑楽郡大泉町寄木戸287

TEL: 0276-49-5033 営業 marketing@s-tec-co.com

TEL: 0276-49-5036 修理センター service@s-tec-co.com

FAX: 0276-62-8341 共通

<http://www.cec-web.co.jp>